

令和7年度第3回札幌方面小樽警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和8年2月20日（金）午後1時30分から午後2時30分まで

2 開催場所

小樽警察署 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 8人（定員10人）

会	長	森田一弘
副	会	長 小松田哲弘、松本京子
委	員	松田有未、石岡二郎、吉田敬徳
		川崎理美、松田隆弘
	（欠席）	橋本喜生子、阿部和宏

(2) 警察署員 12人

署	長	岡本信洋
副	署	長 高橋賢紀
刑事・生活安全官		辻昭彦
地域・交通官		佐藤広之
警務課長		川村雅望
留置管理課長		高本拓実
会計課長		小笠原卓也
生活安全課長		佐藤千春
地域課長		渡部真大
刑事第一課長		服部剛也
刑事第二課長		堀江慎一
交通課長		武田健志
警備課長		望月昭雄
		交通企画係長（機材操作・説明担当）
		警務係長（庶務担当）

4 署長挨拶

まず、令和7年における当署の取り扱いの概要についてお話しします。

通報件数について、110番と加入電話による通報が約11,300件あり、対応しました。

犯罪発生件数について、刑法犯認知件数は前年より減少し、検挙件数は増加しました。

交通事故による死亡は、前年の6人から2人に減少しました。

特殊詐欺は、前年から高止まりの状況が続いています。

次に、令和8年に入ってから話をすると、特殊詐欺では被害額約1,580万円という高額被害の事件を認知しました。

さらに交通事故では、本年は雪が多く、1月末の時点で昨年同期と比べ大幅な増加が見られました。

このほか、国政選挙、米艦の入港など様々な警察事象があり、今後も情勢にあわせた的確な対応に務めてまいります。

5 会長挨拶

署長をはじめ、幹部の皆様、署員の皆様におかれましては、私たち市民の安全と安心をお守りいただいておりますことに、あらためて深く感謝を申し上げます。

前回協議会では、警備艇の見学と業務の説明があり、貴重な体験となりました。

本日は、交通安全業務の説明等があると聞いており、期待しているところです。

それでは、皆様から忌憚なき意見等をいただきまして、本会が充実したものとなるようお願いいたします。

6 議事

(1) 小樽警察署管内の犯罪情勢（刑事・生活安全官）

ア 令和7年中の刑法犯の認知状況

イ 令和7年中の刑法犯の検挙状況

ウ 令和7年中の特殊詐欺とSNS型投資詐欺・ロマンス詐欺の発生・被害状況

エ ニセ警察詐欺の手口

オ 被害防止の広報・啓発活動

(2) 小樽警察署管内の交通事故発生状況等（地域・交通官）

ア 令和7年の交通事故発生状況等

イ 令和8年1月末までの交通事故発生状況等

ウ 小樽市と連携したオーバーツーリズム対策

(3) 質疑

なし。

7 事前質疑に対する説明

道路への雪捨て行為について

（質疑の内容）

坂道に設置されているロードヒーティングに雪を捨てている者がおり、目撃したら注意しているが、今も雪が置かれているのを目にする。よい対処法はないか。

（交通課長）

道路上に雪を捨てる行為は道路法や道路交通法で禁止されている。

このような行為を見かけた際は、警察に通報あれば対処する。

また、小樽市において電柱等に警告書の貼付を行っているので、小樽市建設部

用地管理課へ相談することも検討願う。

8 高齢運転者（1当）の交通事故実態

- (1) 高齢運転者による交通事故の特徴
- (2) 高齢者（70歳以上）の運転行動に関する調査結果
- (3) 高齢者の運転免許証自主返納件数の推移
- (4) 交通安全機材の活用
クイックキャッチ、クイックアームの概要
- (5) 提言、質疑

（委員）

高齢の家族の自主返納を経験した。

家族や、運転を頼める者がいればすぐに返納ともなろうが、そういう状況がなければ返納を決意するのは難しいのではないか。日頃から皆で、声を掛け合っていくとよいと思う。

（委員）

高齢者の免許証返納について、本人にアドバイスしたり、家族から相談を受けたりすることがある。認知機能に衰えのある方の返納が困難な現状があると感じている。

（委員）

運転免許証自主返納者に対するフォローはあるのか知りたい。

（交通企画係長）

警察で行っている施策はない。

自治体によっては優遇措置を行っている地域もある。

9 次回議題

提言なし。

事務局において準備することとした。

10 次回の開催予定

6月頃を予定